

キッズポートえきさいだより



令和6年冬号

1年の中で最も寒い時期を迎えました。病気に負けないように生活リズムを整え、うがいや手洗いをして病気の予防を行い、寒い冬を乗り越えましょう。



～お薬の飲ませ方～

「お薬をなかなか飲んでくれない」という声を耳にする事があります。そこで今回は、お薬の飲ませ方についてご紹介します。



《粉薬》

①スプーンを使った方法

スプーンの上で少量の水または白湯に溶いて、ゴクンとひと口で飲ませます。
お薬は飲ませる直前に溶かし速やかに飲ませます。

キッズポートえきさいでは、基本①の飲ませ方を実施しています。



②練る方法

水を2～3滴たらし、団子状に練ります。頬の内側や上アゴは苦味を感じにくいので、そこに塗ってあげるとよいです。舌に付くと苦味を感じてしまいます。

《シロップ》

薄めずそのまま飲ませます。容器をよく振って必要な量をスポイトやスプーンを使って飲ませます。

粉薬やシロップを服用後は、水や白湯など水分を多めに飲ませてあげて下さいね。どうしても嫌がる場合は、ジュース（カルピス、りんごジュースがおすすりめ）やアイス、ゼリーなどと混ぜて味覚を鈍くして飲ませてあげるといいですね。

※お薬によって効き目が弱くなったり、かえって苦味が増す場合があります。上手に飲めた時は、「よく頑張ったね」などのお声がけもお忘れなく。



～キッズポートえきさいからのお願い～

お薬は、服用分と1回分の予備をお持ち下さい。
またシロップは、1回ずつ別容器に移し替えてお持ちくださいね。



～ある日の保育室での出来事～



10月のある日の朝、エントランスにお父様と一緒に立っていたのは、1年1カ月ぶりに見る〇〇ちゃん。髪の毛が伸び、すっかりお姉さんになったいた〇〇ちゃんは、少し恥ずかしそうにしていました。

小さい頃は、頻繁にご利用されていたけれど、成長と共にご利用されることは殆どなくなりました。

「久しぶりで〇〇も楽しみにしていて、遠足気分です。来月七五三を迎えます。ご報告ができてうれしいです」と、爽やかにご挨拶を下さったお父様。

今回は咽頭炎の為、お熱があり来室。

病児保育室は本当はご利用がない方がいい場所。しかし、こんな再会が私たちにとっては嬉しいのです。



病児・病後児保育とは

保育園に通っている子どもが発熱続きで、なかなか仕事に行けない・・・。
共働き家庭が増えてきている近年では、そんな悩みを抱えているご家庭も多いのです。そんなときに助けになるのが、病児・病後児保育です。



利用状況

(令和5年10月～12月 162名)
インフルエンザ、アデノウイルスが流行っていました。

保育時間：月曜日～土曜日
8：00～18：00（日祝・年末年始除く）
電話：052-654-2858
保育対象年齢：生後6カ月～小学6年生



←キッズポート
えきさい
HPは
こちらから

おたよりの
バックナンバーはHP
で掲載中です♪

今年も子ども達や保護者の方々が、安心してご利用できる場となるように職員一同努めています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。